



冬休みの過ごし方



★ 充実した冬休みを過ごすために、進んで取り組みましょう。

1 家族と一緒に冬休みの計画を立てよう！

冬休みは特別なことがいっぱいです。家族の一員として、家族と一緒にいろいろな計画を立てましょう。

2 家族の一員として、自分の仕事をもとう！

家庭科で学習したことは、「家族の一員として、自分でできることは自分でやること」それから、「仕事の分担をすること」でした。

冬休みは、大掃除や信念の準備などで忙しい日も増えるでしょう。家族の役に立つ手伝いや毎日続ける自分の仕事を決めて取り組みましょう。そして、すてきな1年のしめくくりと始まりを迎えましょう。

3 1日の計画を立てよう

大晦日やお正月が来るので、夜更かしをしたり朝寝坊をしたり・・・ということは、ありませんか。冬休み中、そんな生活をしていたら、3学期が始まった時に元の生活にもどるのが、とてもつらく感じてしまいます。

起きる時刻や寝る時刻、学習や体力づくりの時間帯などをしっかり決めて、規則正しい生活ができるようにしましょう。

4 新年のめあてを立てよう

来年は、どんな年にしたいですか？来年をどんな気持ちで迎えたいですか？いよいよ小学校卒業と中学校進学が明けます。楽しみですね。

1月1日の朝、これからの夢や希望をもって、新しい1年の目標を立てましょう。あなたの考える、小学校生活最後の3学期は、下学年生の『心に残る6年生の姿』は、どんな姿でしょうか。具体的に考えてみましょう。

5 学習の計画を立てよう

冬休みも毎日の家庭学習は大切です。そして、3学期は学期の終わりであるとともに、学年の終わりでもあります。この1年間、学習してきたことがしっかりできるように、苦手な問題や忘れかけていた学習内容などを教科書や1・2学期のテストやプリント、スキルでしっかり復習をしておきましょう。

3学期は、すぐ始まります！進んで家庭学習に取り組みましょう。

冬休みの学習

★ 少なくとも、これだけは必ずやっておかなければならないものだけ、のせておきます。この他にもできることがあれば、積極的に取り組みましょう。

- ① 冬休みの課題帳（〇つけ、やり直しまで）
- ② 冬休みの作品（100字作文、俳句、習字、新聞など）
- ③ 読書
- ④ 体力づくり（縄跳びを中心に組みこもう）

3学期は、1月9日（火）からです。元気に登校しましょう！

持ってくる物 ぞうきん1枚 シューズ 通知表

- 冬休みの課題帳
- 引出の中身（色鉛筆・のり・はさみ など）
- 冬休みの作品（書き初めや絵、作文などやったもの）
- 歯ブラシ・コップ
- 習字道具（書き初め展もあります。墨や筆の確認をしておきましょう。）
 - 大筆・小筆・すすりがきれいに洗ってある。
 - 下敷き・文ちん・習字紙（10枚以上）入っている。
 - 書いた紙をはさむ新聞がある。（新聞を半分に切って、冊子した物）